

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2015

秋

9月1日発行(季刊)



夢のサーカス・フェスティバルが始まる！

高松の仏生山に開設されたサーカス図書館（写真）を拠点に始まった瀬戸内サーカス・ファクトリーは、10月に「瀬戸ラ・ピスト」と銘打ったサーカス・フェスティバルを準備している。タイトルは「NAIMONO」。代表の田中美智子さんが、フランスと高松を往復しながら現代サーカスの伝導活動を始めて5年目の夢がいよいよ実現する。（4頁に関連記事）

あ・うんの数寄講座 茶の湯をさらに楽しむ夏期講習
ここから生まれる現代サーカス
9月から11月までの茶華道・イベント情報
北村美術館茶会のご案内 他

あ・うんの数寄講座

茶の湯をさらに楽しむ夏期講習

茶の湯の文化を切り口に、日本の伝統美とその心を語り合い、理解を深めたいと「茶の湯をさらに楽しむ夏期講習」を企画いたしました。猛暑をモノともせず、毎週ご参加下さった皆様は、さすがに真剣。寺子屋形式の少人数の講演会をご理解いただき一日に二回もお話しして下さった講師の皆様にも、感謝申し上げます。今回は全五回シリーズの前半三回の講演を中間報告させて頂きます。

■第一回 八月一日(日) 「茶碗の楽しみ方について」

講師：赤沼 多佳

(三井記念美術館 参事)



世界的な猛暑記録の続く八月二日(日)、第一回「茶碗の楽しみ方について」と題して、三井記念美術館参事の赤沼多佳先生をお迎えしました。会場は、畳廊下との簀戸を取り払つていつそう広くなつた財団の茶室広間。いつもなら軸を掛け季節の花を生ける床の間にスライド用の白いスクリーン布を吊したので、傍の琵琶床に涼しげな花籠とせみの詞梨勒をしつらつて、夏さかりの会場風景が出来上がりました。

聴講生は徳島や高知など県外からのお客さまを含めて、茶道教授の先生方や茶道具に造詣の深い数寄者、窯を築いて活躍中の陶芸家、茶の湯を歴史の一頁と捉える読書家など、お馴染みのお顔も多く、開講時間よりずいぶん早いお出ましに驚かされたと受付の感想もあり、みなさんの期待の大きさが伝わってきます。時間が来て赤沼先生のご紹介（林屋晴

員、調査員、茶道資料館勤務を経て現在に至る）があり、「茶道具の中でも茶碗は、同座の亭主と客の間を行ったり来たりする身近さから特に人々に親しまれていました）や瀬戸、織部に代表される美

きましたと、先生のとても静かな語り口での解説で、数々の名碗がスクリーンに映し出されていました。

中国から入ってきた唐物茶碗が日本の和物になつていく過程を時間系列に、室町時代の君台観左右帳記に無上也と最上評価されて「唐物茶碗」の王道をゆく天目をはじめとする青磁、白磁、「鳴物茶碗」の安南、侘茶に重用される井戸や呉器、熊川茶碗など、また、日本向けの御所丸、伊羅保、三島、御本、半使茶碗の「高麗茶碗（見立ての茶碗）」と順次続いていき

ます。これまでにいろいろな展覧会場で目を見張った国宝や重文級の茶碗の映像を交えた話は、何となく聞き慣れたような、それでいて理解の及び難い奥の深い話ばかりです。

やがて「和物茶碗に移り、瀬戸天目、利休の侘びの精神を具現化した楽茶碗、国焼として志野（三井記念美術館のオーナー）の線の白眉・国宝「志野茶碗銘卯花墻」の写真が大きく映し出された瞬間、あまりにも有名な茶碗の大膽にへ

濃窯、また、九州諸窯国焼の唐津、高取、薩摩、上野茶碗から萩茶碗に及び、俗にいう一樂二萩三唐津や遠州七窯などを連想しながら拝聴が続き、仁清、乾山、清水など幕末の京焼や御庭焼に至つてお話を終わりました。

長い歴史の中で大切に守られてきた美の世界の披歴は、時の権力者の好みや時代のエネルギーを反映して変遷した造形や模様だけでなく、日本人が愛してきた美の基準を再認識させてくれたひとときもありました。

二時間があつという間に終わり、緊張と感動が解けた会場に急に庭の蝉の鳴き声が忍び込んできました。その後、立札席で薄茶を一服差し上げましたが、この席ばかりは、先ほどの感想を語り合う余韻の声が重なつて、それは賑やかなものでした。

■第二回 八月八日(土) 「茶杓の見どころと削り方」

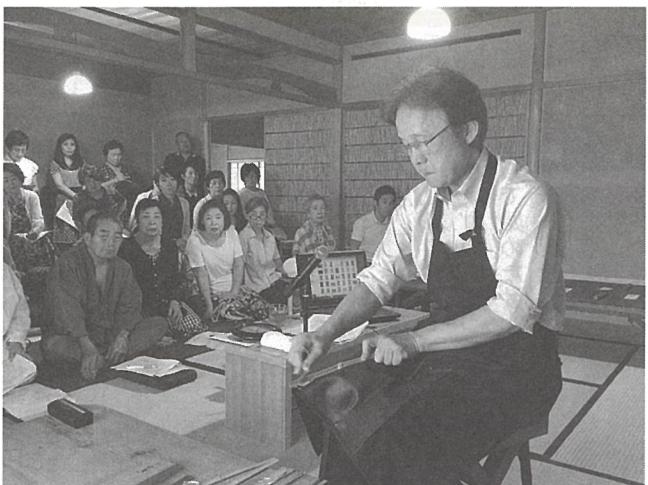
講師：池田 飄阿
(竹樂会 主宰)

お茶と竹の関係から講座は始まり、茶杓の歴史へと話は続く。北宋時代の茶書に茶杓は重いものが良く金・銀・象牙・鉄・竹などで作られていたと記されているが、鎌倉時代に日本に伝わったのは、主に象牙や竹などの軽い茶杓であったとのお話。

その後、室町時代に茶の湯が広く流行すると、茶杓は主に竹で作られていて、利休時代に茶杓は茶人によつてつくられ、しだいに、次のような一定のルールが生まれたとのこと。

・竹でつくり、お茶を掬える形であること

- ・手のひらほどの長さで、小指から中指くらいの幅であること
- ・軽々と持てる重さであること
- ・竹でつくった筒が添い、筒には茶杓の銘と作者名が記されていること
- ・茶人の名においてつくられていること



軽さの例えとして利休の「なみだ」の茶杓は1.3gで指先から茶杓の先まで一体化となり、掬つたお茶の量が判るほど軽さにつくられていると話された。そして、何よりも重要なことは、利休以後の筒を伴う茶杓は、基本として人に贈られることを前提としてつくられていく。それは、知人・友人だけでなく親子間でもなされ、茶人同志の交友の歴史が始まつた。

茶杓は作つた人の個性を反映し、道具として大切に扱われるようになりました。

茶杓は1.3gで指先から茶杓の先まで一体化となり、掬つたお茶の量が判るほど軽さにつくられていると話された。そして、何よりも重要なことは、利休以後の筒を伴う茶杓は、基本として人に贈られることを前提としてつくられていく。それは、知人・友人だけでなく親子間でもなされ、茶人同志の交友の歴史が始まつた。

前もつて説明していたいた茶杓の部分名称を、頭の中で復唱しながらみせていただく。竹材が水と火で形を整えられていく。ミリ単位の細かい作業がなされしていくが、思いつき良き小刀が動く。決めれば迷わないのか？ 削ることに潔さを感じる。そして、サンドペーパーと小刀の背で仕上げ、黙々と削つている茶人の姿を想像した一瞬でした。

一本の竹の茶杓にもいろいろな歴史や作つた人の個性が残り茶の湯の奥深さを感じられる講座となりました。

■第三回 八月十六日（日） 「羽箒について—鳥種と茶人の好み」

講師・下坂 玉起

（羽箒研究家、日本鳥学会・茶の湯文化学会会員）

羽箒（はぼうき）は、茶道具の中でも地味な存在です。現在では、茶事で行われる炭点前の時に、炉や風炉を清める為に使われる道具です。

先生の調査では、茶人の肖像画では手に持つていたり、今でも武家の流れの流派では、向え付けの時に持ち出されたりと、炭道具以外の儀礼的な使われ方もあります。

下坂先生は日本野鳥の会に入るのとほぼ同時にお茶を始められて、炭点前の時に行われる問答で、亭主が「羽はシマフ流れや秘められた交流などを読み取ることができ、一つの茶道具としてではなく、とても大切な役目を果たしていると思われる。何よりも強く感じたのは、贈られた茶杓・共筒には、作者のアイデンティティーがあり、贈る相手を思いつつ茶人自らが削ることの深い意味がある」ということでした。

いよいよ茶杓削りの実演を見せていただく。前もつて説明していたいた茶杓の部材名称を、頭の中で復唱しながらみせていただく。竹材が水と火で形を整えられていく。ミリ単位の細かい作業がなされていくが、思いつき良き小刀が動く。決めれば迷わないのか？ 削ることに潔さを感じる。そして、サンドペーパーと小刀の背で仕上げ、黙々と削つている茶人の姿を想像した一瞬でした。

一本の竹の茶杓にもいろいろな歴史や作つた人の個性が残り茶の湯の奥深さを感じられる講座となりました。

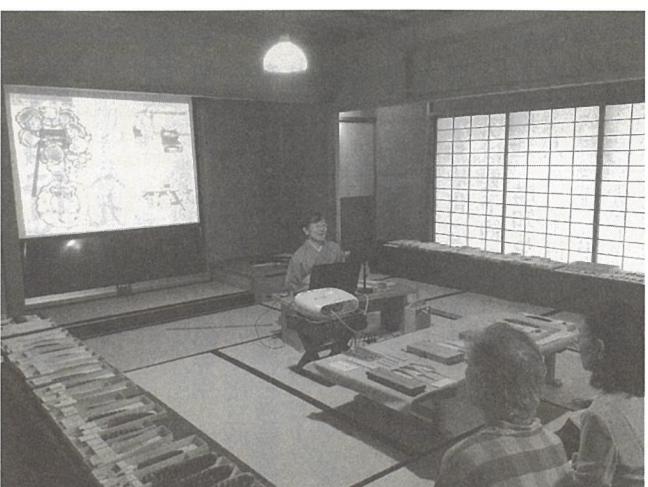
その後古い羽箒を八百本近く調査され、羽の種類を特定したり、大きさや構造についても調べられました。同時に茶人と羽箒のことも。茶道具として伝わった羽箒のことを、古い羽が良好な状態で多数現存しているのは世界でも非情に稀なことだそ

た出来事でした。さて、羽箒の構造は、主に羽を三枚重ねて根元を真竹の皮で巻いた物が使われます。これは千利休が始めたそうですが羽の重ね方については、いろいろと変遷がありました。これは千利休が始めたそうですが羽の重ね方については、いろいろと変遷がありました。これは千利休が始めたそうですが羽の重ね方については、いろいろと変遷があつたようです。

羽の長さは、当初は五寸。文献から江戸中期くらいからは、七寸に変化し現在に至っています。鳥の羽を使つた道具には、ほかにも掴み羽とか座掃という大型の物や、茶箱や水屋で使う小羽箒などもあります。白鳥の座掃などは茶道具としては、今では貴重品です。

現在のように小間の中柱に羽箒を掛けたのは、千宗旦。その他にも羽箒についての数寄者の記述は多いですが、茶人にとつて羽箒とは「心の塵を払う」象徴的な道具であつたようです。

通している羽箒はわずかに唐国鳥（カラクンチヨウ）と呼ばれる七面鳥やクジャク。稀に鷹の類などです。鳥の羽は、定期的に生え変わるので、飼える鳥であれば、羽が手に入る可能性がありますが、珍しい鳥の羽は、ほぼ無理のようです。利休の時代、羽箒に最初に執心した茶人は古田織部だそうです。鳥種を黒鶴、白鶴、野雁、コウノトリに限り、羽箒の使い方を細かく規定ました。上田宗箇も羽箒に関する記述を残しています。遠州流では歴代の家元が自作して箱書きしているので、江戸期の古い物が多く残つたそうです。





高松を拠点に世界に発信したいという思いで始まつた田中美智子さんの挑戦は、仏生山で新たに仲間を得て、スタートを切りました。フランスの現代サークルと日本のアーティストや文化との出会いを模索しながら制作の支援を続けて来られました。今年は5年目の節目で、いよいよこの十月に高松初の創作サークルフェスティバルが開催されます。

「」から生まれる現代サークル

瀬戸内サークルフェスティバル 代表 田中未知子

「トランク1つで」という言葉がおおげさでなく、香川に降り立つてもうすぐ5年。とにかく現代サークルを知つてもらうために、たつた一人で始めたサークルのお話会「千と一夜」。千一夜話し続けたら、きっと自分のサークルは現実のものになると信じて。

現代サークルってなんですか?と訊かれると、なかなか一言では伝えにくいのです

が、演劇でもいいし、ダンスでもいい、想像してみてください。彼らの舞台が平面で

なく、見上げる空中までが演技空間なら?重力や固定概念から解放され、アーティストたちが「自分たちだけの」世界を、舞台作品として創るサークル。世界に一つとして同じものはなく、アーティストの個性と同じだけ作品がある、予想は毎回裏切られる、…それが現代サークル。

最初はひとりだつた活動も、事業を行うごとに仲間が集まり、昨年、一般社団法人瀬戸内サークルアクトリーとしてスタートをきりました。文化は地方でつくられる、をモットーに、地域に根差しながら「現代サークル」という特色ある文化の創造を目指し、活動を続けています。

日本で現代サークルという分野は、まだ

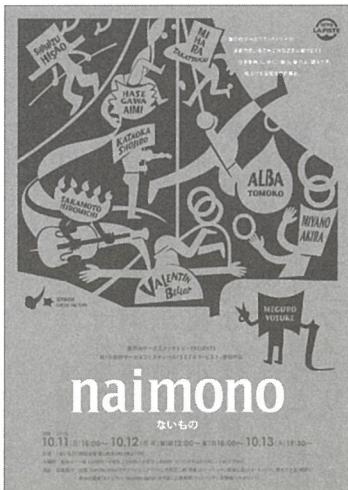
まだ発展途上。しかし、1970年代にフランスで始まつたこの芸術活動は、いまやカナダのシルク・ド・ソレイユをはじめ世界に広まり、発展を続いているのです。

今年の秋、私どもは初めての創作サークルフェスティバル「SETO LA PISTE」を香川町で開催します。日程は十月十一、十二、十三日、プログラムのメインとなる新作公演「ないもの」は、日仏のサークルアーティスト、ミュージシャン、役者など8人が高松に滞在して創作する作品で、今回は空中技を多く使う展開になります。2012年にことでん仏生山工場内で行つた「100年サークル」とおなじ、目黒陽介氏の演出で創作します。「サークルの創作」という概念が理解されにくく日本において、創作に情熱を燃やす、稀有で才能あるアーティストです。

サークルの「創作」は、多くの方にとつて想像のつきにくいものです。練習や創作のためには、体育館のように広い空間、10m近い天井高、丈夫な梁、空中ブランコや綱渡りなどの装置などが必要です。こうした特殊な器具を安全に設置し、扱うため専門技能と経験も重要で(リガードと呼ばれる職業です)、これは日本の舞台芸術の

世界にまだまだ足りておらず、今年、瀬戸内サークルアクトリーはフランス大使館の支援も得ながら、フランス国立サークル学校と契約を結び、専門技能習得と器具設置指導を実施するはこびとなりました。今回のフェスティバルは規模は小さいですが

①滞在制作によるサークル作品創作
②伝統芸能と現代の出逢い
③サークル器具設置の技能向上プログラム
④現代サークル発展について話し合う公開座談会
⑤地元アーティストの発表の場「実験劇場」
⑥現代サークル・大道芸の歴史と今を伝える展示



世界にまだまだ足りておらず、今年、瀬戸内サークルアクトリーはフランス大使館の支援も得ながら、フランス国立サークル学校と契約を結び、専門技能習得と器具設置指導を実施するはこびとなりました。今回のフェスティバルは規模は小さいですが

①滞在制作によるサークル作品創作
②伝統芸能と現代の出逢い
③サークル器具設置の技能向上プログラム
④現代サークル発展について話し合う公開座談会
⑤地元アーティストの発表の場「実験劇場」
⑥現代サークル・大道芸の歴史と今を伝える展示

財団行事予定 (九月～十一月)

九月

- ◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生 九月一日(火)午前十時～十二時
- ◆ あ・うんの数寄講座「茶の湯をさらに楽しむ夏期講習」 九月五日(土)十時三十分～十四時三十分
- ◆ 和菓子講座 高橋初乃先生 九月十一日(金)午前十時～十二時
- ◆ 月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日 九月十五日(火)午前十時～午後四時迄 自由なお時間にお出掛け下さい。ランチは要予約です。
- ◆ 九月懸釜 時知らずの茶を楽しむ 日時 九月二十日(日)

- ◆ 濃茶 美藻庵 晴松亭(当財団茶室) 九月一日(火)午前十時～十二時
- ◆ 薄茶 武者小路千家家元後嗣 千宗屋宗匠 九月十五日(火)午前十時～午後四時迄
- ◆ 薄茶・点心 濃茶席 九月二十日(日) 時知らずの茶を楽しむ
- ◆ 薄茶・点心 濃茶席 九月二十日(日)
- ◆ 薄茶・点心 濃茶席 九月二十日(日)

- ◆ 薄茶 二万五千円 会費
- ◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座) 毎月第二・第四土曜日
- ◆ 山下純子先生 九月十二日(土)・二十六日(土)午前十一時～
- ◆ 十月月金 五人様茶会
- ◆ 十月九日(金)午前十時～十二時
- ◆ 和菓子講座 高橋初乃先生
- ◆ 財団賞授賞式・助成金交付団体認定書授与式
- ◆ 十月五日(月)午前十時三十分～
- ◆ 第一席 A席・B席 九時
- ◆ 第二席 十時三十分

パンケーキ？ホットケーキ？

その昔、百貨店のレストランの定番といえばお子様ランチとホットケーキでした。焼きたてのホットケーキにバターを塗ってひとくち大に切り分けて、それに蜂蜜をかけると切り口に蜂蜜が染み込んで、頬張ると口中に甘さが広がりとても贅沢な気分になつたものです。

家庭用のホットケーキミックスが販売されると、ホットケーキはお子様のおやつ的なイメージが強くなり、喫茶やレストランから姿を消してしまいました。

ところがここ数年カフェの定番メニューとして人気上昇中のパンケーキ。ホットケーキとは違うの？ 外国ではフライパンで焼く小麦粉系のお菓子をパンケーキと呼ぶそうで、ホットケーキとは日本だけの呼称だそうです。

一般的には甘くて厚みのあるものがホットケーキ、薄くて甘味を押さえたものがパンケーキと呼ばれるようです。

でも、最近は写真のような厚くてふわふわのパンケーキが人気だそうで、余計ややこしくなっています。しかしどちらにしてもバターと蜂蜜が至福の時を演出してくれます。



地域から世界へー。わたしたちの現代サーカスが、ここから始まります。ぜひ、この機会に多くの皆様のご参加をお待ち申しあげます。

チケットの「」案内

創作サーカスフェスティバル「SETTOラ・ピスト」
会場：「ないもの」特設会場(香川県香川町川東上2598)
日時：10月11日 18時から、12日 12時～18時から、13日 19時30分から(全四回公演)

入場料(前売)一般四千円・中高生二千五百円・小学生一千円
チケットの「」予約は瀬戸内サーカスクルトリー公式HP
<http://www.setouchicircusfactory.com>
財団でもお取扱いしております。

◆ 第三席 A席・B席 十二時十五分
第四席 A席・B席 十二時四十五分
◆ 月に一度の喫茶室 每月第三火曜日
十月二十日(火)午前十時～午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)
山下純子先生

十一月

十一月

十一月

◆ 十一月懸釜 北村美術館茶会
日時 十一月一日(日)～二日(月)

◆ 和菓子講座 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)
日時 十一月三日(火)午前十一時～午後三時

◆ 晴友会研修旅行 席主 北村美術館 館長 木下收
茶席 濃茶・薄茶・点心席
会費 二万円

◆ 詳細は最終ページを参照
懐石講座 三友居 山本勝先生

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生
日時 十一月十三日(金)午前十時～十二時

◆ 十一月六日(金)詳細は最終ページ参照
和菓子講座 高橋初乃先生
日時 十一月六日(金)詳細は最終ページ参照

◆ 十一月十七日(火)午前十時～午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)
山下純子先生
日時 十一月十四日(土)・二十八日(土)午前十一時～

◆ 十一月月釜 五人様茶会
日時 十一月二十九日(日)

◆ 处理 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)
濃茶 武者小路千家 岡田和恵
薄茶 石州流讀岐清水派石州会 三野宗悦

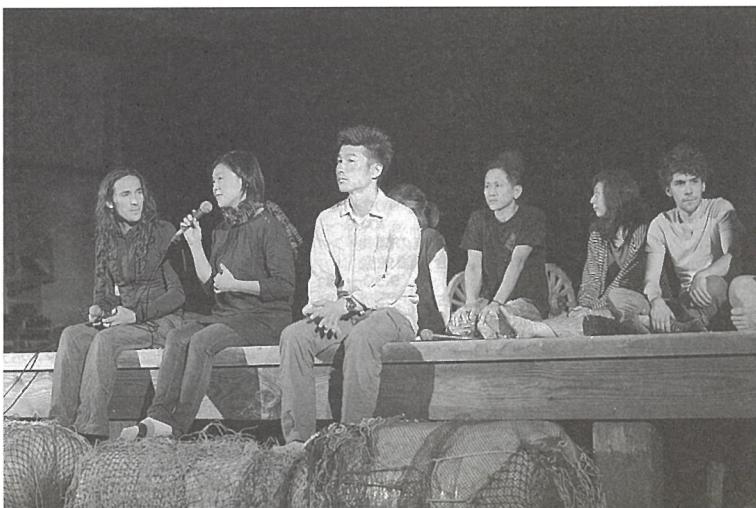
◆ 点心 県産品の特製料理 永樂亭
会費 入席時間 十月五人様茶会と同様

正倉院御物にも見られる蒔絵の装飾技法は、平安時代より伝統の技に時代ごとの新しさを重ねて工芸美を完成させてきました。

大勢の客をもてなす大寄せの茶会では、季節にちなんだしつらいや取り合せの道具から菓子にいたるまで気遣われた一碗の茶が呈されます。亭主の心配りに感謝しながら客から道具の披露が所望され、侘に並列した華やかな蒔絵の棗や菓子器、炉縁、時には香合や風炉先屏風などの図柄や作者が話題になつて一座の話が弾んでいきます。

漆地に金蒔絵、青貝の螺鈿細工、梨地仕上げと蒔絵の技法を重ねた小さな薄茶器の作者が、香川県漆芸界の重鎮、現役最年長作家だつた藤岡研斎さんと紹介され、作品の出来栄えが賞賛されるだけでなく、いつも穏やかで謙虚だったお人柄が語りあわれて、この春に、百六歳の天寿を全うされた漆芸家を偲びました。

（前列左からカミーユ・ボアテル／田中美智子／金井圭介



二〇一五年六月二十七日、四国村で開催されたカミーユ・ボアテル、ワークショップ成果発表には財団も助成させて頂きました。公演の後のインタビュー

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要です。お申し込み、お問合せは、当財団事務局まで(水曜日休館)
高松市番町二丁目一一一二

(087) 826・3355

茶華道ガイド

安部流洗心会四国支部 ☎ (0877)86-3442

11/8 栗林公園月釜 席主：安部流洗心会四国支部
掬月亭 前売600円・当日700円 9:00~15:00

江戸千家不白会香川支部 ☎ (087)851-5330

10/25 江戸千家不白会茶会 席主：川崎恵雪
中條文化振興財団 晴松亭 600円 9:00~15:00

表千家同門会香川県支部 ☎ (087)845-4638

9/13 東讀教授者会・四季茶会 席主：藤本宗正
中條文化振興財団 600円 9:00~15:00

10/25 中讀春秋茶会 席主：脇宗水

丸亀市生涯学習センター 600円 9:00~15:00

11/8 東讀教授者会・四季茶会 席主：西谷宗冬
中條文化振興財団 600円 9:00~15:00

琴平月釜茶道会 ☎ (0877)58-9551

9/27 松尾寺月釜 席主：山下教子
松尾寺 500円 9:00~15:00

10/11 金刀比羅宮例大祭 奉祝奉賛茶会
席主：田中美代子（武者小路官休庵）
アクト琴平 200円 10:00~15:00

茶華道一茶流久松会 ☎ (087)881-1313

10/25 一茶流久松会茶と花会 席主：角陸一彩
玉藻公園披雲閣 1,300円 9:30~15:00

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎ (0877)58-9551

9/20 善琴分会 月釜 席主：稻毛宗敏
樟蔭軒 500円 9:00~14:00

9/27 坂出分会 月釜 席主：坂出分会B班

坂出勤労福祉センター 500円 10:00~14:00

9/27 丸亀分会 月釜 席主：横田宗良

生涯学習センター 500円 10:00~15:00

9/27 多度津分会 観月茶会 席主：多度津分会

町民会館2Fホワイエ 300円 17:30~20:00

10/25 坂出分会 月釜 席主：綾宗博

翠松閣 500円 10:00~14:00

11/1 多度津分会 芸術展茶会 席主：多度津分会

総合福祉センター2F 500円 9:00~15:00

11/3 丸亀分会 文化的茶会 席主：塩崎宗貴

生涯学習センター 500円 9:30~15:00

11/29 善琴分会 護國神社新嘗祭

席主：善通寺教授者（御献茶 稲毛宗敏）
護國神社 500円 10:00~15:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎ (087)861-3136

<淡交会 月釜> 中野天満宮 天神会館
前売600円・当日700円 9:00~15:00

9/6 席主：吉野宗倫

10/4 席主：白井宗美

11/1 席主：長尾宗里

12/13 青年部年末チャリティ茶会
席主：淡交会青年部
前売1,000円・当日1,100円 9:00~15:00

茶道石州流琴松会 ☎ (087)888-5311

9/13 栗林公園 月釜 席主：茶道石州流琴松会
栗林公園掬月亭 600円 9:00~15:00

11/8 創立記念茶会

本席（楳の間） 席主：岸宗源

副席（松の間） 席主：茶道石州流琴松会
玉藻公園 1,100円 9:00~15:00

三癸亭賣茶流高松支部 ☎ (087)833-0347

10/4 三癸亭賣茶流煎茶会

第1席席主：土居美智子

第2席席主：金澤志保、里野絹子

玉藻公園内披雲閣 1,100円 9:00~15:00

石州流讀岐清水派石州会 ☎ (087)898-6569

9/27 西徳寺月釜（東讀茶道懇話会） 席主：児玉宗秀社中

池戸西徳寺 500円 9:00~15:30

10/18 宗閥公343年祭記念茶会

席主：植田宗弘、金丸宗洋・木村宗栄・廣瀬宗幸

間嶋宗美・三野宗綾

玉藻公園披雲閣 1,100円 9:00~15:00

長尾静風会大茶会 席主：野口宗眞

長尾寺 1,200円 9:00~15:00

東讀茶道懇話会 ☎ (087)898-0391

<月釜>池戸西徳寺 500円 9:00~15:30

9/27 席主：石州流 児玉秀

11/15 席主：官休庵 小池公江

武者小路千家 石井妙喜 ☎ (0875)25-0239

11/15 観音寺市文化協会茶会 席主：石井妙喜

働く婦人の家 500円 9:30~15:00

武者小路千家香川官休会 ☎ (087)851-2258

<香川官休会月釜>無量寿院 600円 9:00~15:00

9/6 席主：溝淵保子

11/1 席主：三好綾子

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717

<由佐城月釜茶会> 第2研修室

前売400円・当日500円 9:30~14:00

9/20 席主：森本宗惠（裏千家 高畠宗穂社中）

10/18 席主：中野宗容（裏千家 松野宗敏社中）

11/15 席主：小倉宗貴（裏千家 熊野宗翠社中）

造園協会 中西珍松園 ☎ (087)881-2858

9/20~23 玉藻公園開園60周年記念 秋会記 作品体験と

お茶席 席主：茶道石州流宗家 久保宗照

そぞつ間 13:00~

中津万象園お茶会実行委員会 ☎ (0877)85-8860

10/3 十の三（とのさま）茶会 茶会参加者のみ

現存最古の煎茶席「觀潮櫻」の室内見学

2,200円（前売りチケット制、入園・館料込、200名限定） 10:00~15:15

煎茶席 席主：安部流家元 坂本糸母屋

薄茶席 席主：男性茶道集団「茶楽」観月台

日本の娘 オペラ歌手：AURORA（アウローラ）

庭園代笠亭前芝生広場（雨天時：絵画館ロビー）

12:30~、14:30~（2回公演）

中條文化振興財団 ☎ (087)826-3355

9/20 9月懸釜 時知らずの茶を楽しむ 25,000円

濃茶席 席主：武者小路千家元後嗣 千宗屋宗匠

薄茶席 席主：武者小路千家元教授 芳野宗春

10/11 10月懸釜 五人様茶会 5,000円

濃茶席 席主：表千家流 井川和彦

薄茶席 席主：武者小路千家 山本亘

11/1~2 11月懸釜 北村美術館茶会 20,000円

席主：北村美術館 館長 木下收

11/29 11月月釜 五人様茶会 5,000円

濃茶席 席主：武者小路千家 岡田和恵

薄茶席 席主：石州流讀岐清水派石州会 三野宗悦

以上の茶会はいずれも点心席を含みます。

詳細は、最終ページ、財団行事予定をご覧ください。

イベントガイド

鎌田共済会郷土博物館 ☎ (0877)46-2275

10/24 第6回公開講座「近代天文学のはじまりと大阪」
講師：嘉数次人（大阪市立科学館） 2階講堂
13:30~■（先着40名、要事前申込、10/17締切）

かまとホール ☎ (0877)46-2178

9/5~27 千田豊実 祖父展 祖父と孫の2人展
遺されたもの 10:00~●

10/3~25 朝日奈義廣展 透明水彩画
自然へのみなぎり 10:00~●

11/7~29 速水史朗展 土の造型 10:00~●

12/5~27 ステンドグラス 大豊俊子と「ら・創夢」教室展 10:00~●

多度津町教育委員会教育課 ☎ (0877)33-0700

9/22 ART SETOUCHI 2015 高見島 10:00~●

サクランートどつ多度津町民会館） ☎ (0877)33-3330

9/6 ほっとコンサート！vol.8 JAZZ CONCERT
2Fホワイエ 14:00~●

10/25 第9回 多度津フェスティバル 9:30~●

11/1~3 第6回 街角コンサート～音楽のつどい～ 9:00~●

11/21 宝くじおしゃべり音楽館
～想い出のスクーリンミュージック～ 18:00~●

11/29 カンドンペ デ ウルグアイ 14:00~●

12/6 香美別郡 2015 15:30~●

丸亀市文化観光課 ☎ (0877)24-8822

8/29~9/6 HOTサンダルプロジェクト 作品展覧会 未来の収穫祭2015

丸亀市生涯学習センター1Fギャラリー 9:30~●

9/13 第7回丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館ゲートブランザ 12:30~●

10/15 五十嵐歩美＆永見行業コンサート in 丸亀城

丸亀城大手一の門 18:30~●

10/25 丸亀城フェスタ2015 丸亀城内一円 9:00~●

10/31~11/1 あやうたるさとまつり 丸亀市綾歌総合文化会館 10:00~●

丸亀市文化協会 ☎ (0877)24-8822

9/5 香川県文化協会西讃支部舞台発表会
善通寺市民会館 10:00~●

9/19~27 うちわに描こう絵画展

丸亀市生涯学習センター1Fギャラリー 9:00~●

11/1~3 芸能フェス兀丸2015

丸亀市生涯学習センター3F大ホール 10:00~●

くまるがめ文化芸術祭主催展覧会>丸亀市生涯学習センター

10/10~18 前期展 絵画・写真・彫刻・工芸 9:00~●

1Fギャラリー 9:00~●

10/24~11/3 後期展 書・文芸展 1Fギャラリー 9:00~●

11/2~3 生花展 4F講座室1・2・4、小ホール・5F視聴覚 9:00~●

11/3 茶会 2F大広間 10:00~●

くまるがめ文化芸術祭2015主催公演（能楽の祭典）>

12/5 第1部 第22回香川県能楽会合同語曲会

丸亀市民会館大ホール 9:30~●

第2部 觀世流 能「望月」古式

丸亀市民会館大ホール 15:30~●

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎ (0877)24-7755

~9/23 企画展 マルティーノ・ガンバード

100日で100脚の椅子 10:00~●

第1、3、5日曜キューレーターズ・トーク 14:00~●

~9/27 企画展 猪熊弦一郎展 猫達 10:00~●

第2、4日曜キューレーターズ・トーク 14:00~●

27日クロージング・トーク 「猫をえがく」 14:00~●

2Fミュージアムホール 14:00~●（先着170名）

~9/27 [常設展]猪熊弦一郎展 渡米と抽象表現10:00~●

9/5~6 [少・中学生向けワークショップ]風船と紙でつくろう

張子のランプ 2階造形スタジオ 10:00~●（要申込）

9/19~21 [親子向けワークショップ]遊びよう！水彩絵具と土ねんど 10:00~●

10/3~12/6 [企画展]猪熊弦一郎展 みんなで伝える、

好きになる 10:00~●

会期中の日曜キューレーターズ・トーク 14:00~●

10/19, 20, 21, 2015猪熊おしゃべりーテブル 14:00~●

11/23 開館記念日 詳細未定

丸亀市民族融合文化会館（アリエクス） ☎ (0877)86-6800

11/8 シンフォニックウインズKAGAWA

第16回定期演奏会 大ホール 14:00~●

11/20~22 第39回香川県高等学校演劇研究大会

第32回香川県高等学校総合文化祭演劇部門大会

大ホール 初日 16:00~、2日目以降 9:30~●

11/29 綾歌吹奏楽団 第17回定期演奏会 大ホール 13:30~●

丸亀市民会館 ☎ (0877)23-4141

9/13 丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ

第4回定期演奏会 大ホール 14:00~●

9/14 松竹大歌舞伎 中村翫雀 改め 四代目中村鴈治郎

襲名披露 大ホール 13:30~、18:00~●

植松おさみの司会で歌うカラオケ会 大ホール 13:00~★

作詞家「たかたかしの世界」 大ホール 13:00~★

9/19 第1部 たかたかし杯カラオケ選手権大会決勝 大ホール

第2部 たかたかしを歌う 大ホール 13:00~★

丸亀市立資料館 ☎ (0877)22-6278

11/3~29 丸亀市塙飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区建立30周年記念「全國の町並みパネル展」 9:30~●

10/10~11/29 丸亀市合併10周年記念「京極家の豪宝展」 9:30~●

10/10~11/29 讀岐のやきもの 源内焼の名品展 9:30~●

あーとらんどギャラリー ☎ (0877)24-0927

~9/6 2015様々な遷都ーらんと・フェア展 10:00~●

9/25~27 神戸アートマルシェ展

神戸メリケンオリエンタルホテル 12F 11:00~●

10/4~15 緋引明浩展 10:00~●

10/25~11/12 原博史展 10:00~●

11/19~29 トリルクリスマス展 10:00~●

ぎゃらりい風 ☎ (0877)86-2112

10/21~25 紋な和びざび展 つりびな、タペストリー、小物、

イベントガイド

香川県立ミュージアム ☎ (087)822-0002

- ~9/27 ~この男がジブリを支えた~「近藤喜文展」
主催:近藤喜文展実行委員会 10:00~●
~9/27 アート・コレクション 県展のあゆみ~文化会館
に始まる20年~ 常設展示室4・5 9:00~●
9/18~11/23 古い道具と昔のくらし 常設展示室1 9:00~●
10/6~12/25 アート・コレクション 20世紀の美術
常設展示室2 9:00~●
10/10~11/29 県展80周年記念展
9:00~●
<瀬戸内海歴史民俗資料館>
~9/13 らしの中の信仰
~祈禱札・りとり札・魔除けの民俗 9:00~■
9/19~12/20 “里海”からのメッセージ
~海ごみと寄り物 9:00~■
10/10~2/28 西日本の古便運搬具 9:00~■
アルファあなたふきホール ☎ (087)823-3131

- 9/27 文化庁優秀映画鑑賞推進事業 in 高松VI
「浪華悲歌」「稻妻」「華岡青洲の妻」
小ホール 11:00~●
10/10 英国女王陛下の近衛軍楽隊 大ホール 14:00~●
10/12 藤原歌劇公演 オペラ「愛の妙薬」
大ホール 16:30~●
10/31,11/1 地下芸能フェスタ2015 小ホール 時間未定
12/1 遷居ヒーロー活劇シリーズ!!
舞台「三四のおっさん」 大ホール 13:30~●
高松市歴史資料館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4520

- 10/17~12/20 高松市合併10周年記念
源平合戦屋島の戦い830周年記念
第69回企画展「検証!屋島の戦い」9:00~●

菊池寛記念館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4502

- ~10/4 第24回文学展「没後99年 夏目漱石一漱石
山房の日々」4階企画展示室 9:00~●
9/1~10/4 ミニコレクション展「漱石オマージュの文
学」(予定) 3階研究閲覧室 9:00~●
<文学展特別事業・行事・講演会>
9/5~13 「古本まつり」御入場の方に古本5冊まで提供
(数に限りあり) 3階常設展示室 9:00~●
9/6 夏目漱石作品朗誦会「坊ちゃん」
出演:NHK高松放送局アナウンサー・キャスター
3階視聴覚ホール 14:00~■(先着200人)
9/20 アニメ上映会「坊っちゃん」
3階視聴覚ホール 14:00~■(先着200人)
9/23 ②「漱石『行人』と『こころ』の意義
~芥川の存在に触れて~」
講師:細川正義(関西学院大学教授)
3階視聴覚ホール 13:30~■(先着200人)
9/27 ③「原作をこえる感動~映像化された「それから」と『門』」
講師:十河進(映画コラムニスト)
3階視聴覚ホール 13:30~■(先着200人)
10/4 「音楽コンサート」演奏:高松市役所吹奏楽団
3階視聴覚ホール 11:00~■(先着200人)
<各月の文芸講座>

- 9/12 「菊池寛の世界~その周辺の作家たち」
講師:大西良生(菊池寛研究家)
3階視聴覚ホール 13:30~■(先着200人)
10/3 「西行物語」を読む(IV)」
講師:石川一(奈良大学文学部教授)
3階第1集会室 13:30~●
11/7 「記・紀」の中に「卑弥呼」の居る可能性を考える
講師:富川光雄(元高校教諭)
3階第1集会室 13:30~■
<文学展記念講演会>
11/14 「千の風から希望の木へ」 講師:新井満(芥
川賞作家・作詞作曲家) 対談 新井満×菊池
夏樹(菊池寛直孫、菊池寛記念館名譽館長)
サンボートホール高松第1ホール 18:30~★

高松市中央図書館 ☎ (087)861-4501

- 9/13 「被爆ピアノコンサート」被爆ピアノによるコンサー
ト、朗読など 3階視聴覚ホール 14:00~■
11/3 高松市合併10周年記念
「第11回高松市子ども読書まつり」
講演会、お話会、遊びコーナー、読書感想画の展等
高松市牟礼町図書館 10:00~■

高松市生涯学習センター ☎ (087)811-6222

- 9/17, 10/1, 15, 29, 11/5
簡単な脳トレ!立体折り紙でなにつくろう?
実習室 13:30~●
10/1, 8, 15, 22, 29
民俗学講座 大研修室 10:00~●
10/2, 16 仏像の見方入門~絹や紙に描かれた仏の世界を見る
大研修室 13:30~●
<市民大学2015> 多目的ホール ■
9/12 ①「源平内戦の展開と讃岐国屋島」 13:30~
②「香川県独立運動と中野武宮」 14:50~
③「日常における記憶の不思議」 13:30~
④「シルクロード最大の壁『楼蘭』に迫る」 14:50~
10/3 ⑤「平家琵琶の調べ~屋島合戦から830年、
時を越えて~」 13:30~
⑥「死んだらどうなる?~現代の死生観と葬送儀礼」 14:50~

栗林公園観光事務所 ☎ (087)833-7411

- 11/21~30 栗林公園 秋のライトアップ 21:00まで●

玉藻公園 ☎ (087)851-1521

- 9/21~23 第60回香川国風小品益会 秋季展 披雲閣
10/30 披雲閣オリジナルコンサート2015 披雲閣
11/1 屋島ライオンズクラブ茶会 披雲閣

ミューズホール ☎ (087)833-0013・0014

- 10/17 marasy piano live tour 2015 17:00~●

11/1 第25回 グレンツエンピアノコンクール
本選課題曲公開レッスン 13:00~●

高松市文化芸術振興課 ☎ (087)839-2636

9/6 0才からのコンサート2015 川島コミュニティーセンター 14:00~■

9/20~23 バラダイス仏生山 ことでん瓦町~仏生山駅~仏生山町周辺
20日 16:00~、その他 11:00~●

<サンボートホール高松> 山形由美フルートリサイタル

9/27 第1小ホール 14:00~●

瀬戸フィル ティータイムコンサート ハロウィン
スペシャル 第2小ホール 13:00, 16:00~●

<高松国分寺ホール> ムーンナイトコンサート ロビー 18:30~■

9/23 紙ふうせんハートフルコンサート ロビー 14:00~●

9/26 言葉の先生に聞いてみよう! ロビー 10:00~●

9/27 観月コンサート ロビー 18:30~●

10/4 音の祭り & 国分寺マルシェ 高松国分寺ホール・玄関前広場 10:00~●

10/12 お料理先生に聞いてみよう! ロビー 10:00~●

11/14 国分寺落語会 ロビー 14:00~●

11/23 ホンヤミカコと金子みすゞの世界 14:00~●

高松市文化財課 ☎ (087)839-2660

9/13 ひょうげ祭り 14:00~■

香川町浅野集落研修センター~新池 田井の子どもも神相撲 六萬寺(牟礼町) 12:00~■

<「探究!たかまつ遺産」人・もの・場から高松の歴史と地域を考える> 高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00~●

9/20 石清尾山古墳群(箱崎山地区)の積石塚古墳の調査成果~
調査の意義と今後の展望~ 波多野鶴(高松市文化財課)

10/18 ヤマト(櫛中裕司)からみた石清尾山古墳群
廣瀬覚(奈良文化財研究所主任研究員)

11/21 福岡山北端1号墳 発掘現場見学会
集合場所・時間未定 ■

<ふるさと探訪>
「高松城外堀跡周辺を訪ねる」(予定)

琴電 築港駅前集合 9:30~■

10/25 「屋嶋城跡(浦生地区) 長崎鼻古墳を訪ねる」(予定)
集合場所未定 9:30~■

11/22 「宇多津の社寺を訪ねる」(予定)
集合場所未定 9:30~■

NHKふれあいギャラリー ☎ (087)825-0160

9/1~6 第19回水墨画展 黄文人・水墨画会 9:30~■

9/8~13 くらしの中の書の作品展 桜華書道会 9:30~■

9/15~20 楽しい模様折り(作品展) 日本折紙協会香川
支部おりがみKAGAWA 9:30~■

9/29~10/4 芭芸展(長寿大学在学生・OB作品) 陶芸13会 9:30~■

10/6~11 「サークル・フォニック」写真展 9:30~■

10/13~18 第11回SIC写真展 9:30~■

10/20~25 水墨画 水墨画展 NHK文化センター水墨画・墨彩画受講生 9:30~■

10/27~11/1 第39回農業共済書写コンクール優秀作品展
香川県農業共済組合 9:30~■

11/3~8 筆耕教室作品集 和みの書教室 9:30~■

11/10~16 花燃ゆ巡回展 NHK高松放送局 14:15 ふれあいフェア 19高松放送局会館の公開、
わんわんと遊ぼうショー他 9:30~■

11/24~29 2015フォトさぬき写真展 9:30~■

かわり園 ☎ (087)821-5957

9/9~13 古今茶之湯総合展 恒例となりました新古茶道具五百
余点を一同に展示即売致します(大特価コーナー設置) 御坊町福善寺2階 10:00~■

桜ショッピング高松店 ☎ (087)831-8866

11/6~12 「村尾一哉 うつわ展」 茶陶から日常使いの器まで 10:00~■

ギャラリーen ☎ (087)851-3711

10/1~7 渡辺愛子 作陶展 10:00~■

10/10~17 立原位貴 木版画展 10:00~■

11/11~18 川添日記 木漆展 10:00~■

珈琲俱楽部櫻 ☎ (087)823-0160

9/3~15 秋の入口手織り展 ストール、Bag、ベスト等 10:00~■

9/16~27 藍書き絵・阿河弘志展 10:00~■

10/1~17 H and K ジュエリーアート展 10:00~■

10/18 ボサノバ・カフェlive (vol.7) フェリアード
13:00~、15:30~(2回公演) ●

10/20~31 タイヒロコ 秋冬あみの展 10:00~■

11/1~14 あつたかぼうし展 10:00~■

11/18~29 ステンドグラス展(仮題) 10:00~■

内町ギャラリー Tamamo ☎ (087)822-1037

10/1~8 原登美枝のNYコレクションより~
アートのようなアンティークボタンを中心として食器、
シルバー、ガラス等の小物たち 10:00~■

10/14~18 もともろう「生活骨董店」手もとににおいて毎日オ
シャレに使いたい 江戸もの~昭和もの~ 9:00~■

10/20~25 「遊牧民の手織展」トルコ各地から集められた貴重な
オールドキリムや、キリム雜貨、伝統刺繡を施したズサンニ
やハンドメイドアクセサリーを多数 10:00~■

11/6~8 「三人展」組ひも、ジュエリー、レザーカラフト、オブジェ
作家:藤村英美、山口和馬、山口兜 10:00~■

11/10~11 「手作り好き作品展」縫う、編む、刺す等の
手仕事グループ展 9:00~■

11/13~15 「香川で活動するジュエリー作家6人展」
シルバー等を使ったリング等 10:00~■

11/17~22 「+mod THE Exhibition of Artful Felt & Jewelry」
香川在住のフェルト作家と関東中心に活躍している
2人の金工作家のコラボレーション展 10:00~■

- 11/24~29 romantic Alameda 新作個展
「ステンレススワイヤー」が織りなすレースのよ
うなアクセサリー 10:00~■

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717

<2F市民ギャラリー>

9/5~30 企画展「第10回わが家のお宝展 え~もん・
おもしょいもん大集合!」 9:00~■

10/3、4 共催展「第19回土遊会 陶芸展」 9:00~■

10/12~18 共催展「第16回香南文化交流展」 9:00~■

10/24~12/6 企画展「名刀と装身具展(仮称)」 9:00~■

高松市塩江美術館 ☎ (087)893-1800

~11/29 (常設) Memory in Shionoe
~写真でたどる塩江の記憶~ 9:00~■

9/8~10/12 (企画) 長野由美展 Egg in wonderland 9:00~■

10/20~25 貸館「花はどこへ行った」 9:00~■

高松市石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484

9/11, 10/9, 11/13 古文書を読み会(5)~(7) 江戸時代の和歌等を
読み解いて 講師: 加藤 優(鎌田共済会郷土博物
館・館長) 講座研修室 14:00~教材費要

9/18~27 共催展「長月展」 企画展示室 9:00~■

10/10~11/23 企画展「石の里のアーティストたち~テーマ・
庵治石 Part14」 芝生広場 9:00~■

10/11SWOJazzコンサート エントランスホール 14:00~■

10/24ワーキショップ「庵治石で盆石アート」
講座研修室 10:00~■

10/10~11/23 企画展「石庭・瀬戸の島風」
企画展示室 9:00~■

10/17 美しき日本の歌~秋風にのせて~
エントランスホール 18:30~■

11/8 落語会(仮) エントランスホール 14:00~■

11/21 石の民俗資料館の会工作教室~石のハンコを作ろう~
講座研修室 10:00~ (先着予約20名)

さぬき市志度音樂ホール ☎ (087)894-1000

10/4 瀬戸フィル室内楽コンサート 14:00~●

11/22 New Artists Recital Vol.19 土居里江ピアノリサイタル 14:00~●

東かがわ市ユーチューリズム協会 ☎ (0879)26-1267

9/26 第3回相生ふるさと村まつり 平和保育園ふれ
あい運動会・通賀まつり・JR高徳線 80周年記念
にちなみ相生の80年前の資料展示他、アトラクシ
ョン。相生コミュニティセンター 8:30~■

10/15~18 世界の人形祭 世界70か国1370点の人形を展示。
世界遺産と料理の紹介。コンサートやダンスの上演、
マルシェなど 引田のまち並み、讃州井筒屋敷 10:00~■(一部)

10/17 福栄の里 空ちゃん田んぼ稻刈り 古代米で弘
法大師空を描いた田んぼアートの福刈り 与田山JA福栄出張所より西に200m 9:00~■

11/6~8 フィールドミュージアムSA・NU・KI 2015
工芸作家20名による引田の古民家を会場にした作品展
引田のまち並み、讃州井筒屋敷 10:00~■(一部)

とらまるパベットランド ☎ (0879)25-0055

9/9~13 舞台芸術振興事業・人形劇特別公演②
井上ひさし原作「父と暮せば」原爆投下後広島を舞台
に、父と娘の感動の物語 人形劇団むすび座(愛知)
人形劇場とらまる座 12:13~13:30~

9~11日は団体対象 10:00~、14:00~●

10/30~11/1 とらまる人形劇カーニバル 2015
西日本最大級の人形劇イベント

とらまる公園内各会場 10:00~●

11/22~23 舞台芸術振興事業・人形劇特別公演③
(美女と野獣)個性的な人形たちが織り成す至高のファンタジードrama
人形劇団ひとみ座 人形劇場とらまる座 13:30~●

坂出市建設経営産業課にぎわい室 ☎ (0877)44-5015

9/20, 10/18, 11/15 悲運の帝 崇徳上皇のゆかりの地を巡る
坂出市觀光案内所 9:30~●

9/25~29 香風園觀月会 香風園 18:00~●

9/23 西行法師の道を歩く (月編) 坂出市觀光案内所 18:00~●

10/24, 11/7 さかいで三島物語 坂出市觀光案内所 9:00~●

10/24~11/3 小与島・島・11/7櫃石島・岩黒島
11/14 加茂山石碑群と国宝神谷神社をめぐる
坂出市觀光案内所 9:00~●

11/21 秋の遍路道を歩く 坂出市觀光案内所 9:00~●

11/22 城山城の遺跡をめぐる 坂出市觀光案内所 9:00~●

11/28 トンボの里 王越めぐり 坂出市觀光案内所 9:00~●

坂出市教育委員会文化振興課 ☎ (0877)44-5036

9/19~21 演劇大学inさかいで 勤労福祉センター・香風園、
市民ふれあい会館 時間・料金は講座により異なる●

坂出市民ホール ☎ (0877)45-1505

9/6 第32回 坂出市民大学 13:00~●

10/4 ケセラフレンドコンサート 13:00~●

10/12 レサンコンポート~木管楽器による語り部たち~ 14:00~●

10/17~11/29 第57回 坂出市民芸術祭 催し物によって時間は異なる●

坂出市民美術館 ☎ (0877)45-7110

9/4~7 毎日児童生徒便箋展 9:00~●

9/17~27 てんざらばさら絵画展 9:00~●

9/17~27 墓石園創立10周年記念水墨画展 9:00~●

10/10~11/1 現代童画会香川展 9:00~●

11/7~8 まなどビアフェスティバル 9:00~●

11/14, 15 MOA児童作品展 9:00~●

■財団のお知らせ

北村美術館茶会のご案内

実業家で茶人でもあつた北村謹次郎の収集品を保存するために設立された美術館です。隣接する「四君子苑」は、北村氏の旧邸で、東山を借景にした昭和初期の数寄屋の傑作として有名です。

この度は、前回の懸釜以来四年振りに、木下収館長にお茶席をお願い出来ることとなり、ご案内の一事を頂戴いたしましたので、ご紹介します。

記

卯歳の春に参上し、新春を寿ぐ取り合わせでお茶を一服差し上げましたが、今は、そぞろ夜寒を覚えるころの取り合わせに加え、会に相応しい「勉強会」と企画中です。どうか楽しみにお待ちくださいませ。

日時	十一月一日(日)～二日(月)
処	美藻庵 晴松亭(当財団茶室)
席主	北村美術館 館長 木下收
茶席	濃茶・薄茶・点心席
会費	二万円(各席十名・約二時間三十分)
第一席	午前九時
第二席	午前九時五十分
第三席	午前十時四十分
第四席	午前十一時三十分
第五席	午後十二時二十分
第六席	午後一時十分

美術館に収蔵されている貴重なお道具をお持ち出しいただいての本格的なお茶席です。前回も木下館長の軽妙なお話で、和やかな中にも凛としたお茶席を体験させて頂きました。今回も季節を変えての取り合せがとても楽しみなお茶席です。

まちかど漫遊帖(秋編)のご案内

茶の湯は敷居が高いと良く言われます

が、もつと気軽に楽しんで頂きたいので、立礼席でお茶を差し上げながら、茶の湯の歴史や、茶席で恥をかかない客の作法など、楽しくレクチャーさせて頂きます。また、財団の茶室、美藻庵・晴松亭をご案内いたします。本格的な茶室の不思議な空間を気軽に体験して頂けるチャンスです。ぜひこの機会にご参加下さい。

日時は、①十月二十四日

②十一月七日
③十二月十九日

いずれも土曜日の13時30分までに、財團までお越し下さい。要予約です。

参加料 千五百円(お菓子とお抹茶を含む)

まちかど漫遊帖十周年記念 漫遊帖男衆・数寄もの茶会

11月23日(月曜祭日)に、高松城披雲閣の大書院において、華月流の細川康秀氏、菓匠芝山の鈴木康成氏のお二人と茶室の管理人、中條晴之が、コラボレーションのお茶席を華やかに演出させて頂きます。ぜひご参加下さい。

午前11時から一時間毎に四席

茶席料は1000円です。

チケットのお申し込みは、財団まで。

茶会に引き続き、午後3時より蘇鉄の間に於いて、音楽と言葉「糸より姫漫遊帖編」の公演があります。入場料は1500円ですが、茶会とのあわせチケットを2300円でご用意しております。

晴友会・研修旅行のご案内 陽明文庫の「茶杓筆筒」を訪ねて

陽明文庫は、近衛家伝來の古文書などを保管している歴史資料保存施設です。

かねてよりご要望の多かつた「茶杓筆筒」全三十一本の拝見が、この度、名和文庫長のご好意で実現することとなりました。また、「虎山荘」において、特製の点心とお抹茶を頂きます。虎山は近衛文麿の号です。当日はバスをチャーターしての日帰り旅行となります。

日時 十一月六日(金)午前七時出発
参加費 (会員)一万五千円、定員三〇名
(一般)一万八千円

■新講座のご案内

森本先生の書道教室10月開講

書道を習いたい。茶席の掛物を読めるようになりたい。というご希望にお応えして、喫茶室や大茶会でもお馴染みの、中国文化研究家の森本義人先生に教室をお頼みいたしました。書道の実技と古典の読み方など、わかりやすく教えて頂きます。書道はそれぞれの目的に応じて、お手本を選んで頂けるそうです。十月よいよ開講です。

日時は、毎月第一、第三金曜日。月二回。午前十時から書道実習。十一時から古典の講座。という流れで実施します。月謝は実習と講座のセットで5000円(月二回)。講座だけのご参加の場合は3000円です。十月は、二日・十六日の予定です。ご希望の方は財団までお申し込み下さい。

編集後記

猛暑に台風と今年も厳しい夏でした。

八月には「茶の湯をさらに楽しむ夏期講座」が行われました。暑さもセミの鳴き声もなんのその、多くの方々が参加してくださいました。物づくりのすばらしさを教えていただき感謝でした。

コンピューターによる製造と違つて、手間と時間をかけて、一つ一つ作らなければいけないものだからこそ、作り手の思いが込められていくのでしょう。

ものつくりの世界には様々な分野があり、最近は、若い人たちが「匠」を目指してがんばっている姿も報道されています。書道はそれぞれの目的に応じて、お手本を選んで頂けるそうです。十月よいよ開講です。

伝統文化の世界にも関心を持つていただき、後継者が育つていくようにと願っています。

「声・情報お寄せください」

〒760-0017 高松市番町二丁目一一一二

公益財団法人 中條文化振興財団編集部

T E L (087) 826-3355

F A X (087) 826-3312
info@chujo-zaidan.or.jp